

# 革新的アメリカ人指揮者、 ジョン・アクセルロッドが登場します!

秋の音楽シーズンの幕開けを彩るお祭りコンサート。今年のテーマは“*That's* オーケストラ!”  
ジョン・アクセルロッドを中心に世界で活躍するアーティストたちが登場、クラシックの名曲を奏でます。  
それぞれ隠れたテーマのある楽しいラインナップをお楽しみください。

**F** SUNTORY HALL  
Festival in autumn



# John Axelrod

Special Interview

ジョン・アクセルロッド インタビュー

—指揮者になる前には、ワインのお仕事に就いていらしたとか。

カリフォルニアのロバート・モンダヴィ・ワイナリーでワインを作っていました。ワインは大好きです。私にとって、よいワインもよい音楽のようなものです。指揮者をソムリエに喩えて考えることも好きですね。あるいはそのような指揮者に憧れているのかもしれない!

指揮者の道を進むことになったきっかけは、1994年のある夜の体験でした。ナバ・ヴァレーの月あかりに照らされた丘を運転していたところ、ワーグナーの《トリスタンとイゾルデ》の序曲が突然に頭の中で鳴り出したのです。運転に集中できないほどの大音量でした! 車を止め、ナバ・ヴァレーの壮麗な光景を見わたしました。すべての音が—風、コオロギ、蛙、鳥、飛行機、車の音が—不在でした。恐れ多く崇高な、純粋なサイレンスであり、その沈黙は私がそれまでに聴いた最も美しい音楽でした。車に戻ってエンジンをかけたところ、ラジオから《トリスタンとイゾルデ》の序曲が偶然に流れてきました。これは運命の印だと思い、翌日にワインの仕事辞めて指揮者の道を進みました。16歳の頃に師事していたバーンスタインの言ったことは正しかった! 自分は指揮者を続けるべきだったことを悟ったのです。

—クラシックだけでなく、ロック音楽にも目がなくて伺っています。

要は“よい音楽”であれば何でも大好きです。これまで世界中の150以上のオーケストラを指揮してきました。マーラーやブラームスの作品を指揮しているからといって、ロックの演奏・鑑賞はしない、というわけではありません。これまでずっとロックを—とりわけ60・70年代のロックを—好んで生きてきたので、私がクラシックとロックの融合に興味を持つようになったのは当然の成り行きでした。主流のプログレッシヴ・ロックは、ハーモニーやメロディ、楽曲の壮大な規模、という点でクラシックから多大な影響を受けています。

おそらく現在、私は世界で唯一の“ロックを指揮できるクラシックの指揮者”であり、世界で唯一の“クラシックを指揮できるロックの指揮者”でしょう—私という人物を一言で表すとすればこの言葉がぴったりですね。

—今回のオープニング・フェスタにも、さまざまなジャンルの“よい音楽”が登場しますね。

ユニークなプログラムを組むことができ、とてもうれしく思っています。コンサートホールで通常演奏されるレパートリーのみならず、映画音楽なども含まれています。

第一級の演奏家、そして素晴らしい東京交響楽団の皆

さんと共に、名高いサントリーホールにて、「サントリーホールフェスティバル」のオープニングを飾ります。ラインナップされたオーケストラの名曲はそれぞれ選曲の隠れたテーマがあり、聴衆と演奏者、双方にとって楽しいプログラムに仕上がったと思います。

—聴衆の皆さんに、クラシック音楽、コンサートをどのように聴いてほしいですか?

クラシック音楽を楽しむ最高の“こつ”は演奏会にいらしていただくことです。CDを聴くこと、動画を見ることは簡単ですが、生の演奏に勝るものはありません。演奏の瞬間に立ち会い、演奏家たちが共に奏でる姿を目にすること—そこでは個々のパートよりも和が尊ばれます—は素晴らしい体験です。交響曲においてもオペラにおいても、他者との感動のシェアは、単に音楽への熱意を形にする以上の行為です。人々の連帯という価値をはっきりと示すことができる瞬間でしょう。究極の“ウィン・ウィン”ですね。

—日本の皆さんにメッセージを。

「花鳥風月 (Kachou Fuugetsu)」という言葉や、皆さまと共有したいと思います。ここではあえて、自然という語を音楽に置き換えて解釈したいと思います—音楽は最も巧みに魂を映し出す鏡ですから。自然(音楽)の美を愛でることで、自己の理解を深めましょう。

公演情報 サントリーホール フェスティバル2014

## オープニング・フェスタ —That's オーケストラ!—

9.20(土) 18:00開演 指揮ジョン・アクセルロッド

華やか! 気鋭のアーティストたちが競演。



©Akira Muto

ソプラノ:天羽明恵  
超絶的なコロラトゥーラとリリックな声を併せ持ち、内外で高い評価を得ているソプラノ歌手。



©Katia Kokolotseva

テノール:ジョン・健・ヌツオ  
ウィーン国立歌劇場、メトロポリタン歌劇場と世界の名だたる歌劇場で華々しい活躍を誇るオペラ歌手。



©Shuichi Tamoda

ヴァイオリン:南 紫音  
2005年ロンドン・国際音楽コンクール第2位を受賞し、一躍国際的注目を集める期待の若手実力派。



©K.Mituro

ピアノ:金子三勇士  
バルトーク国際ピアノコンクールの他、数々の国際コンクールで優勝した期待の新星。



オルガン:高橋博子  
ドイツの国際オルガンコンクールを総なめし、G.レオンハルトから絶賛される。



©Terry Linke

フルート:ディーター・フルーリー  
1981年よりウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の首席奏者、ソ・奏者としても幅広く活躍。



司会:高嶋政宏  
昨年のオープニング・フェスタから司会として舞台をリードし、客席を盛り上げる。



吹奏楽:海上自衛隊東海上自衛隊を代表するセントラルバンド。

売切

ウイングシート 限定100席=17,000円(グラスシャンパン1杯付き/1F前列中央1-5列)  
バルティエS/ミッテS=14,000円 バルティエA/ミッテA=12,000円  
バルコンR/バルコンL=10,000円 ホディウム=8,000円

Enjoy! “Opening Festa” 粋なイベントでおもてなし!

### 1 オープニング・ファンファーレ

開場時には、エントランス前にて海上自衛隊東京音楽隊による特別ファンファーレを演奏します。

### 2 ベストスタイル賞@サントリーホール

キラリと光る素敵なお客様に、出演者たちによるベストスタイル賞を呈呈。栄冠に輝いたお客様には素敵なプレゼントをご用意しています。



2013年より

### 3 グラスを片手に音楽やダンスを

ブルーローズ(小ホール)特設の「サロン」でお飲み物と共におくつろぎいただけます。室内楽の生演奏、ダンスもお楽しみください。



詳細はWEBへ サントリーホール 検索